

1 基本項目	事務事業名	放課後子ども教室推進事業				担当部署	課等名	地域協働課
	予算事業名	放課後子ども教室推進事業					係名	協働推進係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1131
	事業期間	開始年度	平成13年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につながるまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費	
	施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
	基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上				総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連		関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	放課後における子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等地域に根ざした多様な体験活動の機会を提供し、地域全体で子供たちを育む。主として小学校児童を対象に全校下の地区公民館と2つの小学校の待機スペースでいろいろな遊び、料理、伝統芸能、サークル活動等を行う。
	対象	市内の小学生
	手段(活動指標)	平日放課後並びに土日・祝日に公民館等でサークル活動・体験活動を実施する。
	意図(成果指標)	放課後において子どもたちの安全な居場所が確保される。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 実施教室数	箇所	16	16	16	16	100.0%	16
	② 教室開催数(総数)	回	365	136	258	204	79.1%	258
成果	① 参加者数(延べ)	人	5,758	1,883	4,685	2,374	50.7%	4,685
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,969,576	1,020,407	2,038,000	1,400,661	37.3%	
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	1,172,000	679,000	1,348,000	928,000	36.7%	
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円	797,576	341,407	690,000	472,661	38.4%	
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	900	900	900	900	0.0%	900
総費用(A+B)	円	5,821,576	4,872,407	5,890,000	5,252,661	7.8%		

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>放課後子ども教室は、地区公民館と小学校で3教室を開設(松倉公民館・加積公民館・星の杜小学校)星の杜小学校での教室は、放課後子ども総合プランによる放課後児童クラブとの一体型としての活動。土曜教室は、各地区公民館で13教室を開設</p> <p>放課後の子ども活動の連携協力体制の整備のため、平成31年4月に魚津市地域協働学校協働本部を設置し3年度も引き続き2名の地域学校協働活動推進員を委嘱した。</p> <p>令和4年2月28日には放課後対策事業運営委員会を開催して、事業の実施状況や課題の整理、放課後児童クラブとの連携などについて協議した。</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	②目的の妥当性	1 妥当である		
				③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	3 低い・未実施		
効率性	B	B	事業自体の見直しでなく進め方の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし		
				③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	3 低い		
結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	②実施主体の適正化	1 適正である		
				③負担割合の適正化	1 適正である		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 □事業の拡充 △事業の縮小 ×統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等 少子化対策としても重要な事業であり、関係団体と協議して事業を展開していく必要がある。また、小学校の統合により、実施場所や方法について見直ししていく必要がある。	2 次評価		不要	

1 基本項目	事務事業名	公民館大規模修繕事業（公民館施設整備事業）				担当部署	地域協働課		
	予算事業名	公民館大規模修繕事業				係名	市民交流係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1131		
	事業期間	開始年度	平成13年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				予算科目	款	教育費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	公民館費
		基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上					総合計画主な事業	記載なし
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連あり（評価対象）		

2 事業概要	事業概要	住民が集い、ふれあい、学ぶ場である地区公民館で安心して事業が行えるよう、耐震性の無い公民館には耐震補強をするとともに、経年劣化等により大規模修繕が必要な施設においては大規模改修を行い、快適で安心して利用できる施設にする。
	対象	地区公民館
	手段（活動指標）	大規模修繕や耐震化工事を必要とする公民館の工事を行う。
	意図（成果指標）	大規模修繕や耐震化工事が必要な施設には工事を行い、住民が安心して利用できる施設を増やす。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 大規模修繕等実施か所数	館	1	0	1	1	100.0%	1
	②							
成果	① 耐震化対応済みの公民館数	館	11	11	11	11	100.0%	11
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	35,994,750	583,000	188,327,000	78,514,560	13367.3%	572,703,000
	①国庫支出金	円	17,801,000		46,000,000	38,186,666		237,615,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円	12,939,000		120,600,000			298,928,000
	④その他（使用料、雑入等）	円						20,000,000
人件費	⑤一般財源	円	5,254,750	583,000	21,727,000	40,327,894	6817.3%	16,160,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	800	800	800	800	0.0%	800
	③人件費（②×@ 4,280円）(B)	円	3,424,000	3,424,000	3,424,000	3,424,000	0.0%	3,424,000
総費用 (A+B)	円	39,418,750	4,007,000	191,751,000	81,938,560	1944.9%	576,127,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>旧村木公民館解体工事を行った。工期延長のため、事業費94,960千円を翌年度に繰越した。 （仮称）魚津市本江地域交流センター新築工事に係る設計業務、用地取得、用地造成工事を行った。造成工事の工期延長及び新築工事費等について114,730千円を翌年度に繰越した。</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	評価	妥当性		A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性
有効性			A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
					① 目標達成度	2 目標どおり
効率性		B	進め方等の改善が必要	② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
				① コスト効率	2 普通	
1 次評価	結果（課長総括）		A	計画どおり事業を実施することが適当	② 実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	（仮称）魚津市本江地域交流センターがR5年度供用開始できるよう工事の進捗監視及び必要に応じて地域への説明を行う。また、今後、大町・上野方・上中島・松倉地区の旧小学校の利活用と併せて計画的な公民館の建替え又は既存施設への移転等を地域と協議検討していく。	③ 負担割合の適正化	1 適正である

1 基本項目	事務事業名	公民館活動振興事業				担当部署	課等名	地域協働課	
	予算事業名	公民館活動振興事業					係名	市民交流係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1131	
	事業期間	開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち				款	教育費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	公民館費	
	基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）	
根拠法令					総合戦略との関連		関連なし		
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連		関連なし		

2 事業概要	事業概要	各地区社会教育振興会（地区公民館）に委託して、生涯学習推進のための各種教室・講座などを開催している。また、地区との共催事業で運動会・敬老会・文化祭を開催している。	
	対象	市民	
	手段（活動指標）	各地区公民館が主体となって各種教室や講座等を開催する。	
	意図（成果指標）	公民館教室等に参加する住民が増え、住民の教養が高まるとともに地域が活性化する。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 成果	① 生涯学習教室開催数	回	410	306	450	399	88.7%	450
	② 共催事業等開催数	回	67	38	69	49	71.0%	69
	① 生涯学習教室等参加者数	人	13,310	6,160	14,000	7,613	54.4%	14,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	10,480,602	7,299,406	9,583,000	7,785,936	6.7%	9,455,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤一般財源	円	10,480,602	7,299,406	9,583,000	7,785,936	6.7%	9,455,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
	③人件費（②×@ 4,280円）(B)	円	1,712,000	1,712,000	1,712,000	1,712,000	0.0%	1,712,000
総費用 (A+B)	円	12,192,602	9,011,406	11,295,000	9,497,936	5.4%	11,167,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>各地区社会教育振興会（地区公民館）へ委託し、当該地域に応じた高齢者学級や異世代交流などの各種公民館教室を開催した。また、公民館活動における公民館総合補償保険行事傷害補償への補助を実施した。</p> <p>また、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により、公民館利用及び事業実施において感染症防止対策を徹底して行った。事業の実施が難しかったため活動費用について当初より低いものとなった。</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込みが甘い	②目的の妥当性	1 妥当である		
				③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	3 低い・未実施		
効率性	B	B	事業自体の見直しでなく進め方の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし		
				③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	3 低い		
結果（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	②実施主体の適正化	1 適正である		
				③負担割合の適正化	1 適正である		
1次評価	今後の方針	○現状を維持	事業の委託先について、今後公民館のコミセン化の検討とともに公民館振興事業の委託金と地域振興事業の補助金（まちづくり交付金）の統合も含め、検討していく必要がある。	2次評価		不要	
		事業の拡充					
		事業の縮小					
		統合等の検討					
		終了又は廃止・休止					

1 基本項目	事務事業名	生涯学習振興事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課			
	予算事業名	生涯学習振興事業					係名	生涯学習・文化係			
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045			
	事業期間	開始年度	昭和45年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計			
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち				款	教育費			
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費			
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費			
		基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上				総合計画主な事業				
	根拠法令					総合戦略との関連					
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連					

2 事業概要	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市の社会教育全般について助言や意見を受けるため、社会教育委員を設置する。社会教育委員は、東海北陸社会教育研究大会などへの参加を通じて社会教育の現状や動向について研修し、時代に合った社会教育事業の実施につなげていく。 ・学び続けるきっかけづくりとして、初心者を対象とした生涯学習教室を開催する。また、成果を発表する生涯学習フェスティバルを開催する。 ・市民向け教養講座を開催する。
	対象	市民
	手段(活動指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議の開催及び社会教育研究大会（東海北陸ブロック）への参加 ・市内における生涯学習教室の開催や習い事などの生涯学習活動を始めた人への確かな情報提供、生涯学習の新たな指導者の育成を図る。
	意図(成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員からの事業への意見や提言を受け、事業に反映させていく。 ・生涯学習に取り組む人が増える。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 生涯学習事業の実施回数	回		3	3	2	66.7%	3
	②							
	① 生涯学習事業の参加者数	人		688	400	287	71.8%	400
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	2,143,882	2,328,333	3,056,000	2,748,358	18.0%	3,171,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			56,000	6,000		62,000
⑤一般財源	円	2,143,882	2,328,333	3,000,000	2,742,358	17.8%	3,109,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	480	520	600	900	73.1%	900
	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	2,054,400	2,225,600	2,568,000	3,852,000	73.1%	3,852,000
総費用(A+B)	円	4,198,282	4,553,933	5,624,000	6,600,358	44.9%	7,023,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○令和3年1月27日に社会教育委員会議を開催し、令和2年度の重点事業について事務局より説明の後、委員から事業への意見や提言を受け、令和2年2月に開催した教育委員会の事務点検及評価結果として報告した。</p> <p>○市民を対象に山城探訪ツアーを開催した。</p> <p>【開催日】令和3年11月23日 【場所】松倉城跡</p> <p>○R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新規教室の開催はとりやめとした。</p> <p>○生涯学習教室や地区公民館で開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。</p> <p>【開催日】令和4年3月13日【場所】新川学びの森天神山交流館</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	1 次評価	妥当性		A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性
有効性			B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である
効率性			B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である
結果(課長総括)			B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	2 目標どおり
2 次評価	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止 	方針の説明等	市が主催する生涯学習教室は、生涯学習のきっかけづくりであることから、教室は入門の位置づけとし、併せて新規講師の育成も図る。また、生涯学習教室の開催数の向上のみを実績とするものから、市内開催教室の情報収集や情報提供といった業務に重点を置くものとする。	②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	2 普通
					①コスト効率	2 普通
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である
					不要	

1 基本項目	事務事業名	資料収集保存提供事業				担当部署	課等名	図書館	
	予算事業名	資料収集保存事業					係名	図書係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成10年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費	
	施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	図書館費	
	基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上					総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
	根拠法令	図書館法第3条第1項第1号～第4号					総合戦略との関連		関連なし
	アウトソーシング導入状況						集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者へ提供する。
	対象	市民及び図書館利用者
	手段(活動指標)	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。
	意図(成果指標)	市民の図書館の利用及び本への親しみが増加する。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 市民	人	41,672	41,224	40,927	40,477	98.9%	40,206	
	② 図書館利用登録者数	人	29,360	30,089	30,100	30,714	102.0%	30,800	
	成果	① 入館者数	人	202,730	148,075	210,000	151,318	72.1%	160,000
		② 貸出冊数(個人)	冊	275,498	238,733	270,000	223,776	82.9%	270,000

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	13,237,864	26,667,284	13,859,000	13,727,572	-48.5%	13,875,000
	①国庫支出金	円		13,283,232				
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	56,289	195,284	544,000	244,676	25.3%	546,000
人件費	⑤一般財源	円	13,181,575	13,188,768	13,315,000	13,482,896	2.2%	13,329,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	4	-20.0%	4
	②年間所要時間	時間	2,980	2,500	2,500	2,500	0.0%	2,500
総費用	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	12,754,400	10,700,000	10,700,000	10,700,000	0.0%	10,700,000
	総費用(A+B)	円	25,992,264	37,367,284	24,559,000	24,427,572	-34.6%	24,575,000

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者へ提供した。また、資料の照会や本の相談(レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。 ・ H28年度から雑誌スポンサー制度を開始し、収集経費の削減を図った。 ・ 寄附金を受け、絵本や健康に関する本を購入した。 	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	A	A		① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	② 目的の妥当性	1 妥当である	
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③ 対象の妥当性	1 妥当である	
	効率性	A	A	特に問題なし	① 目標達成度	2 目標どおり	
2 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	② 類似事業の有無	1 なし	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	電子書籍と実物の書籍とともに計画的に購入し、さらに資料の充実と市民への提供を進めたい。	③ 上位施策への貢献度	1 高い	
					① コスト効率	1 高い	
					② 実施主体の適正化	1 適正である	
					③ 負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		

1 基本項目	事務事業名	教養・普及事業				担当部署	課等名	図書館	
	予算事業名	教養・普及事業					係名	図書係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度	当面維持	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち				総合計画 主要事業	款	教育費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	図書館費
		基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上					総合戦略との関連	記載あり(評価対象)
	根拠法令	図書館法第3条第1項第6号				集中プランとの関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況								

2 事業概要	事業概要	図書館教室(古文書解説会・読書会など)や文学講座・歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催
	対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方
	手段(活動指標)	図書館映画上映事業、文学講座、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、読み聞かせ講習会、図書館教室(古文書解説会、草かなで読む読書会、魚津読書会、川柳教室)、図書館コンサート
	意図(成果指標)	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 図書館教室開講数	件	70	47	60	59	98.3%	70	
	② おはなし会開催数	件	53	0	10	0	0.0%	10	
	成果	① 図書館教室参加人数	人	596	513	600	633	105.5%	600
		② おはなし会参加人数	人	880	0	500	0	0.0%	500

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	628,393	209,469	284,000	243,765	16.4%	574,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円			0			
		②県支出金	円			0			
		③地方債	円			0			
		④その他(使用料、雑入等)	円	502,343	180,000	120,000	139,500	-22.5%	570,000
⑤一般財源		円	126,050	29,469	164,000	104,265	253.8%	4,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	4	4	-20.0%	4	
	②年間所要時間	時間	2,800	2,400	2,000	1,700	-29.2%	1,700	
	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	11,984,000	10,272,000	8,560,000	7,276,000	-29.2%	7,276,000	
総費用(A+B)	円	12,612,393	10,481,469	8,844,000	7,519,765	-28.3%	7,850,000		

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館教室(古文書解説会・読書会など)や文学講座・歴史講座、お話し会、お楽しみ会、シネマ倶楽部などを開催した。 ・コロナ感染予防により、8月～9月は教室等開催を中止した ・横山源之助生誕150年を記念し、3つの講演会を実施し、関連展示も行った。 	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし		①自治体関与の妥当性
②目的の妥当性						1 妥当である
③対象の妥当性						1 妥当である
有効性	A	A	特に問題なし		①目標達成度	1 高い
					②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	特に問題なし		①コスト効率	1 高い
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止 	方針の説明等	図書館の郷土資料を活用し、講座等を開催するとともに、周知に努め、参加者数の増加を図りたい。		

1 基本項目	事務事業名	文化財維持管理事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財維持管理事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和38年	終了年度	当面継続		会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				予算科目	款	教育費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	文化費
		基本事業名	基本事業14-2. ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令	博物館法、文化財保護法				総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内にある文化財の管理。文化財保護審議会及び博物館協議会の開催。 埋蔵文化財調査室の施設管理を適切に行い、発掘調査によって出土した埋蔵文化財を整理し、管理・収蔵及び調査報告書の作成等を行う。
	対象	<ul style="list-style-type: none"> 市内の文化財。 発掘された埋蔵文化財及び発掘調査記録。
	手段(活動指標)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会及び博物館協議会の開催及び未指定文化財の調査を実施し、文化財の保存や活用を図る。また博物館のより良い運営形態を図る。 出土品及び記録保存された図面等に対する適切な整理・収蔵。
	意図(成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> 未指定文化財の調査や、文化財の状況を随時確認することで、文化財の劣化や破壊を防ぎ、後世に残すことができる。 発掘された埋蔵文化財が適切に整理、管理、収蔵される。これにより魚津の文化財として適切に保存されることになる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 文化財保護審議会及び博物館協議会の開催	件	2	1	2	1	50.0%	2
	②							
成果	① 文化財調査件数	件	1	1	1	1	100.0%	1
	② 新たな指定文化財件数	件	1	1	0	0		0

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	426,522	671,506	1,355,000	703,716	4.8%	1,654,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円			1,355,000	703,716		1,654,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	5	3	3	-40.0%	3
	②年間所要時間	時間	400	600	1,000	1,000	66.7%	1,000
総費用	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	1,712,000	2,568,000	4,280,000	4,280,000	66.7%	4,280,000
	総費用(A+B)	円	2,138,522	3,239,506	5,635,000	4,983,716	53.8%	5,934,000

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>博物館協議会を1回開催(令和4年3月24日)。 県指定史跡である松倉城跡の草刈りを2回実施。 埋蔵文化財調査室の維持管理。</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性		B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	2 普通	
効率性		B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要		
	今後の方針			○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等 博物館協議会、文化財保護審議会等は市内の博物館や文化財を管理していく上で必要である。また、国、県、市それぞれの指定文化財を適切に維持、管理、活用していく必要がある。	

1 基本項目	事務事業名	文化財保存活用事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保存活用事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費	
	施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	文化費	
	基本事業名	基本事業14-2. ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用					総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
	根拠法令	文化財保護法					総合戦略との関連		関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)					集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損の際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指定・重要無形文化財「魚津のタテモン行事」を安定的に開催するための協力、支援を行う。	
	対象	・市内の文化財。指定無形民俗文化財保存団体。魚津市の歴史を調査研究する団体。 <レガシー事業>魚津市在住の小学生~大人	
	手段(活動指標)	・市内の文化財の保存・活用のために整備を行うと共に、伝統的な祭りの継承に努める。 ・各保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる。 <レガシー事業>ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りを後世に継承していく意識を高める事業の推進	
	意図(成果指標)	・市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。 保存会等の活動が活発になり、無形民俗文化財が適切に保存・継承される。また、歴史同好会会員により魚津の歴史や伝統についての調査がなされる。 <レガシー事業>ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りが後世に安定的に継承される。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	3	2	3	5	166.7%	5	
	② たてもんの森に関わる事業の参加者数	人	89	0	20	22	110.0%	30	
	成果	① 文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	人	0	30	20	20	100.0%	20
		② たてもん協力隊参加者数	人	301	0	300	0	0.0%	300

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	5,677,844	37,635,460	6,798,000	3,385,425	-91.0%	6,183,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	2,144,000					
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	1,600,000	35,000,000	1,451,000			1,801,000
人件費	⑤一般財源	円	1,933,844	2,635,460	5,347,000	3,385,425	28.5%	4,382,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	3	-25.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,240	1,140	1,140	1,000	-12.3%	1,000
総費用	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	5,307,200	4,879,200	4,879,200	4,280,000	-12.3%	4,280,000
	総費用(A+B)	円	10,985,044	42,514,660	11,677,200	7,665,425	-82.0%	10,463,000

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・松倉城跡探訪ツアー開催。 ・市指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助(補助団体:布施谷節保存会、鹿熊刀踊り保存会、せり込み蝶六保存会) ・国指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助(補助団体:たてもん保存会)。 ・新型コロナウイルス感染症の為、たてもん祭り中止。 ・全国山・鉦・屋台保存連合会総会中止。 <レガシー事業> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、魚津まつりが中止となり、引き手ボランティアの募集は行わなかった。 ・たてもん祭り中止のため、保存団体への運営支援は行わなかった。 ・「たてもんの森」の草刈りイベントを実施しました。(11/27) 	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	B		不要		
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	C	実施主体と内容の見直しが必要	③対象の妥当性	1 妥当である	
2 次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	2 目標どおり	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	指定文化財や今後保存すべき文化遺産に対して、現状把握と保存・整備・活用についてその地域と連携し、進めていく必要がある。また、ユネスコ無形文化遺産に登録の「魚津のタテモン行事」は、国を代表する祭りの1つとして、その保存と継承に努める責任があり、保存団体と市民、行政が一体となり、安定的運行と後継者育成、PRに努めていく。	②類似事業の有無	1 なし	
					③上位施策への貢献度	2 普通	
					①コスト効率	2 普通	
					②実施主体の適正化	2 改善の余地あり	
					③負担割合の適正化	2 改善の余地あり	

1 基本項目	事務事業名	歴史民俗博物館事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	歴史民俗博物館事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和62年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				款	教育費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	歴史民俗博物館費	
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実				総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
	根拠法令	博物館法				総合戦略との関連		関連なし	
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	博物館の維持管理や展示・普及活動。また寄贈品の整理台帳を作成、収蔵品の適切な管理及び活用を行う。常設展とは別に、テーマを設けて展示を行う企画展を開館期間中に実施する。
	対象	博物館施設及び館収蔵品、市民、県内外観光客
	手段(活動指標)	企画展の開催。維持管理とそれに付随する事務作業。館内展示品等修繕、考古学教室開催による普及活動。
	意図(成果指標)	地元魚津の歴史や今も伝わる貴重な文化財を知ることができる。 博物館の継続的運営。展示施設、収蔵品の管理。館収蔵品の状態や収蔵場所、数量などの把握。 市民が博物館を利用し、収蔵品を見ることができる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 企画展の開催回数	回	2	1	1	1	100.0%	1
	②							
成果	① 入館者数	人	5,981	3,125	4,000	4,514	112.9%	4,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	283,390	309,942	6,750,000	4,972,668	1504.4%	4,040,774
	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	283,390	309,942	6,750,000	4,972,668	1504.4%	4,040,774
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	3	50.0%	3
	② 年間所要時間	時間	500	500	500	800	60.0%	1,400
	③ 人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	2,140,000	2,140,000	2,140,000	3,424,000	60.0%	5,992,000
総費用(A+B)	円	2,423,390	2,449,942	8,890,000	8,396,668	242.7%	10,032,774	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の収集整理。 ○施設の管理運営に伴う事務作業を行った。 ○老朽化に伴う施設の修繕を行った。 (給水管漏水修繕) ○監視カメラの更新を行った。 ○令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月18日～9月27日まで休館。 ○企画展見学会を学校教育課で実施しているふるさと発見バス事業へ組み込んで実施。 ○企画展「館収蔵武器」展を開催した(6月25日～10月10日)。 	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	② 目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	C	抜本的見直しまではいかないが見直しが必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	2 目標どおり		
				② 類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	③ 上位施策への貢献度	2 普通		
				① コスト効率	3 低い		
				② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり		
1 次評価	今後の方針	現状を維持	方針の説明等	③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり		
		事業の拡充			生涯学習や明日を担う人づくりのためにも、事業の推進は必要である。そのためにも、展示内容の見直しや収蔵品の活用などにより博物館の魅力を高める必要がある。		
事業の縮小		2 次評価	不要				
	統合等の検討						
	終了又は廃止・休止						

1 基本項目	事務事業名	水族館施設整備事業				担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	施設整備事業					係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成20年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち						
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり						
		施策名	施策14. 生涯学習の推進						
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実						
	根拠法令							総合計画主な事業	記載なし
	アウトソーシング導入状況							総合戦略との関連	関連なし
							集中プランとの関連	関連あり（評価対象）	

2 事業概要	事業概要	水族館施設の大規模な施設改修事業	
	対象	①入館者②魚津水族館館内設備	
	手段(活動指標)	大規模な整備に関する施設改修工事	
	意図(成果指標)	効果的な改修を行い、4代目水族館建設まで、安定運営を図る。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動	①年間入館者数	人	157,300	99,026	120,000
成果	①入館者の前年対比	%	102.9	63.0	120.0	112.2	93.5%	121.5
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			事業費合計 (A)	円	12,768,800	25,363,690	44,579,000	41,685,846
財源内訳	①国庫支出金	円			9,200,000	9,200,000		
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	12,768,800	25,363,690	35,379,000	32,485,846	28.1%	19,444,000
	⑤一般財源	円						
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	1,100	1,100	1,100	1,100	0.0%	1,100
	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	4,708,000	4,708,000	4,708,000	4,708,000	0.0%	4,708,000
総費用(A+B)	円	17,476,800	30,071,690	49,287,000	46,393,846	54.3%	24,152,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○トビックスコーナー濾過槽更新工事(委(一般管理費で))	
	○富山の河川コーナー濾過材更新工事(委(一般管理費で))	
	○サンゴ礁コーナー熱交換器取替工事(委(一般管理費で))	
	○市水揚水ポンプ更新工事(委(一般管理費で))	
	○トビックスコーナー濾過水系統マグネットポンプ更新工事(委(一般管理費で))	
	○電源立地交付金を活用した整備工事(バックヤード・キズコナ)	
	○空調設備改修	
	○自家発電設備オーバーホール(繰越)	
	4代目魚津水族博物館のあり方について関係者にプレゼンテーションを実施し、意見を集約するとともに、関係課にも関連事項について意見を頂戴した。	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	2 目標どおり		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	2 普通		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	現状においては、長寿命化計画を立てても、金額が大きすぎて、実施できない修繕が多い。与えられた予算内で優先度を考えて修繕工事を行っており、突発的に生じる修繕は補正対応している。今後、営業に支障のある大きな修繕が生じる可能性が高くなっている。	2 次評価	③負担割合の適正化	1 適正である
						不要	

1 基本項目	事務事業名	水族館企画展事業				担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	企画展事業					係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				総合計画 主要事業	款	水族館費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	水族館費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	水族館管理費
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実					記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	担当者が世間情勢を考慮しながらテーマを選び、ファミリーウムを中心に年に数回開催する。	
	対象	来館者	
	手段(活動指標)	春の企画展、ホタルイカ展示、シロエビ展示、夏の企画展、ハロウィン特別展示、クリスマス特別展示	
	意図(成果指標)	企画展を通して、入館者は生物に対して興味がわき、知識が増える。	

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 企画展の実施回数	回	6	4	6	7	116.7%	6
	②							
	① 年間入館者数	人	157,300	99,026	120,000	111,099	92.6%	130,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,530,656	485,430	1,415,000	851,127	75.3%	1,320,000
	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	1,530,656	485,430	1,415,000	851,127	75.3%	1,320,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	2,260	2,260	2,260	1,760	-22.1%	1,760
	③ 人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	9,672,800	9,672,800	9,672,800	7,532,800	-22.1%	7,532,800
総費用(A+B)	円	11,203,456	10,158,230	11,087,800	8,383,927	-17.5%	8,852,800	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○ハゼ展 ○ホタルイカ白エビ展示 ○40th Anniversary展 ○メダカ展 ○ハロウィーン特別展示：富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った ○クリスマス特別展示：富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	特に問題なし	① 目標達成度	1 高い	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1 高い	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	「うおすいファミリーウム」を活用し、親子等の家族をターゲットにした企画展やイベント等を行うことにより、年間パスポート利用者を勧誘したい。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	水族館博物館事業				担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	博物館事業					係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち						
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり						
		施策名	施策14. 生涯学習の推進						
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実						
	根拠法令							総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)						総合戦略との関連	関連なし
							集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③普及活動に関わること						
	対象	①常設展示生物 ②入館者 ③普及活動						
	手段(活動指標)	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③うおづ水辺の調査隊活動等						
	意図(成果指標)	①水族館の展示生物をよい状態で飼育・展示ができる ②調査研究の結果を年報やホームページで公表する ③普及活動により、水生生物に対する理解が向上する						

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動	① 展示生物	点	10,000	10,000	10,000
	② 調査研究数	件	5	5	5	5	100.0%	5
成果	① 本年度展示生物数/前年度の展示生物数	%	100	100	100	100	100.0%	100
	② 論文・報告発表数	数	3	7	5	8	160.0%	5

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			事業費合計 (A)	円	9,184,476	8,323,416	3,339,500	2,500,864
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	9,184,476	8,323,416	3,339,500	2,500,864	-70.0%	4,220,000
	⑤一般財源	円						
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	3	-25.0%	3
	②年間所要時間	時間	2,560	2,260	2,560	2,280	0.9%	2,300
	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	10,956,800	9,672,800	10,956,800	9,758,400	0.9%	9,844,000
総費用(A+B)	円	20,141,276	17,996,216	14,296,300	12,259,264	-31.9%	14,064,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等						
	事務事業の一部を施設管理公社に委託						
	○水槽クリニック：市内小学校に配布したメダカの確認と調整						
	○魚津市内及び県内の生物調査を行った。						
	○ホテルイカ展示						
	○ホテルイカ発光実験開催						
	○ホテルイカ発光実験出前講座						
	○ミッケビオトップ事業(調査研究事業・観察会)						
	○うおづ水辺の調査隊事業						
	○スナガニ観察会						
○富山県小河川調査(富山県生物学会) 淡水魚・両生類など							
○魚津沿岸生物調査							

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
					②目的の妥当性	1 妥当である
					③対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	特に問題なし	①目標達成度	1 高い	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	博物館事業は水族館の命であり、この部分の充実に力を入れるのは欠かすことができない。恒常的な展示更新や話題性のある生物展示、普及活動などを行って、情報を発信することで、魚津水族館の魅力をアピールしたい。またサポーター活動をより充実して、新たな活動につなげていきたい。	2 次評価	
		事業の拡充				
		事業の縮小				
		統合等の検討				
		終了又は廃止・休止				

1 基本項目	事務事業名	蜷気楼ネットワーク事業				担当	課	等	名	埋没林博物館	
	予算事業名	蜷気楼ネットワーク事業				係			名	管理係	
	事務区分	自治事務				電	話	番	号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成15年度	終了年度	当面継続	予	算	科	目	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				会	計	款	項	教育費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり								社会教育費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進								埋没林博物館費
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実								記載なし
	根拠法令					総合計画	との	関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中	プラン	との	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市の観光資源の1つである「蜷気楼」に関する情報の集約、情報交流、発生メカニズムの解明、魚津市民への知識の普及を目指す事業	
	対象	蜷気楼につながりを持つ人、情報及び魚津市民	
	手段(活動指標)	蜷気楼交流会の開催、交流会記録誌の発行 日本蜷気楼協議会と連携した講演会の開催	
	意図(成果指標)	蜷気楼に関する人、情報等の交流を促進し、魚津市民には郷土の地域資源としての蜷気楼に関する理解を深める。	

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 研究発表件数	件	12	0	10	8	80.0%	10
	② 記録誌配付件数	件	100	0	100	50	50.0%	50
	① 研究発表会聴講者	人	21	0	50	32	64.0%	50
	② 講演会参加者	人	26	0	30	20	66.7%	150

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	53,604	29,274	134,000	29,660	1.3%	1,059,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円	53,604	29,274	134,000	29,660	1.3%	1,059,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	740	700	900	700	0.0%	900
総費用(A+B)	円	3,220,804	3,025,274	3,986,000	3,025,660	0.0%	4,911,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○日本蜷気楼協議会と連携した第17回蜷気楼交流会を現地オンラインで開催した。</p> <p>○特別講演会、研究発表会の内容を記録した「第17回蜷気楼交流会記録誌」を発行した。</p> <p>○日本蜷気楼協議会と連携しフォトコンテスト入選写真展を開催した。</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	① 目標達成度	3 低い・未実施	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1 高い	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<p>○現状を維持</p> <p>○事業の拡充</p> <p>○事業の縮小</p> <p>○統合等の検討</p> <p>○終了又は廃止・休止</p>	方針の説明等	市制70周年の令和4年度に内外に大々的に発信するシンポジウムを実施する。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館調査研究事業				担当部署	埋没林博物館		
	予算事業名	調査研究・展示事業				係名	管理係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-1049		
	事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち				予算科目	款	教育費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	埋没林博物館費
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実					総合計画主な事業	
	根拠法令					総合戦略との関連		関連なし	
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	市内の自然(植物、地質、気象等)を調査研究、記録し、展示や教育普及活動にできる形にして公開し、資料や情報を後世へ伝える。
	対象	魚津市及び関連地域の自然
	手段(活動指標)	魚津市内の自然史資料に関する調査、研究、資料収集。報告書、印刷物、展示、講演等による調査研究成果の周知 先進地視察研修 県東部地域のジオパークに係る活動に対する助成
	意図(成果指標)	調査研究、資料収集等により現況を明らかにし、展示・教育普及等の事業に活用できるようにする。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 野外調査等回数	回			80	110	137.5%	80
	②							
成果	① 新規収集資料数(画像ファイル等のデータ等2次資料を含む)	件			3,000	2,850	95.0%	3,000
	② 報告書・出版物・外部執筆・講師派遣等件数	件			30	51	170.0%	40

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	540,361	410,816	553,280	378,676	-7.8%	1,508,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円			553,280	378,676		1,508,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	4	3	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	740	1,000	1,000	900	-10.0%	1,000
総費用	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	3,167,200	4,280,000	4,280,000	3,852,000	-10.0%	4,280,000
	総費用(A+B)	円	3,707,561	4,690,816	4,833,280	4,230,676	-9.8%	5,788,000

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○魚津市の植物に関する調査研究 ○曇気楼に関する調査研究 ○魚津市の地質・地学分野に関する調査研究 ○各種講座等への講師派遣 ○広報誌等の執筆、編集、発行 	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性			A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性
② 目的の妥当性						1 妥当である
③ 対象の妥当性						1 妥当である
有効性			A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性			A	特に問題なし	① コスト効率	1 高い
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
1次評価	結果(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止 	方針の説明等	総合計画の更新に伴い令和3年度から評価対象になった。市内を中心に恒常的に調査を行いデータの蓄積を行い、情報を発信することで博物館の魅力アピールしたい。		

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館展示事業				担当部署	埋没林博物館	
	予算事業名	調査研究・展示事業				係名	管理係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち					
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					
		施策名	施策14. 生涯学習の推進					
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実					
	根拠法令						総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況						総合戦略との関連	関連なし
						集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	調査研究の成果をもとに展示を発案・作成し、知識や情報を親しみやすい形で市民及び博物館利用者に提供する。
	対象	常設展示・企画展示内容及び展示物、魚津市民及び入館者
	手段(活動指標)	企画展を実施
	意図(成果指標)	展示を企画・製作し、利用者の観覧に供する。

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 展示企画開催件数	件	5	8	6	6	100.0%	4
	② 企画展開催日数	日	348	346	345	346	100.3%	347
成果	① 企画展示期間入館者数	人	39,659	17,842	35,000	19,154	54.7%	35,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	166,755	1,672,252	863,720	690,038	-58.7%	7,772,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円		436,000				
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円	166,755	1,236,252	863,720	690,038	-44.2%	7,772,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	800	1,300	900	900	-30.8%	1,000
総費用(A+B)	円	3,590,755	7,236,252	4,715,720	4,542,038	-37.2%	12,052,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○「山にサメ!海からスギ!魚津の化石展」(3/5~6/27)の開催	
	○「魚津ナチュラルギャラリー21」(4/1~4/18)の開催	
	○「蜃気楼写真展」(5/1~6/30)の企画、開催	
	○「ふしぎでかわいい粘菌の世界」(7/21~10/31)の開催	
	○「日蜃協写真コンテスト作品展」(11/1~12/28)の開催	
	○「魚津ナチュラルギャラリー22」(1/2~4/30)の企画、製作	

6 評 価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	
	結果(課長総括)	A	A		計画どおり事業を実施することが適当	不要
6 評 価	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	②目的の妥当性	1 妥当である
	効率性	A	A	特に問題なし	③対象の妥当性	1 妥当である
1 次 評 価	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	埋没林、蜃気楼等に代表される魚津市の自然について、市民や市外からの来訪者の興味を喚起し、理解や保護意識を高めるため継続して実施。	①目標達成度	2 目標どおり
					②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	1 高い
					①コスト効率	1 高い
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である